

令和8年2月市議会建設水道委員会資料

第12号議案 令和7年度長崎市下水道事業会計補正予算（第3号）

目次	ページ
1 国の1次補正に伴う国庫補助事業について	2～8
2 新市庁舎建設事業費負担（市庁舎跡地再整備等）の継続費の補正について	9～18
3 南部上下水道事務所における電気使用料還付金について	19
4 下水道事業会計補正予算（第3号）総括表	20～22

上下水道局

令和8年2月

1 国の1次補正に伴う国庫補助事業について

事業名	補正予算額
下水道ストックマネジメント（施設の老朽化対策）事業	千円 488,800

(1) 概要

- ・下水道ストックマネジメント計画に基づき、計画的な点検・調査及び修繕・改築を行うことにより、持続的な下水道機能の確保を図るもの
- ・今回の補正は、国の1次補正に伴い、令和8年度に予定していた国庫補助事業等の一部を令和7年度に前倒しして実施するためのもの

(2) 内容

（単位：千円）

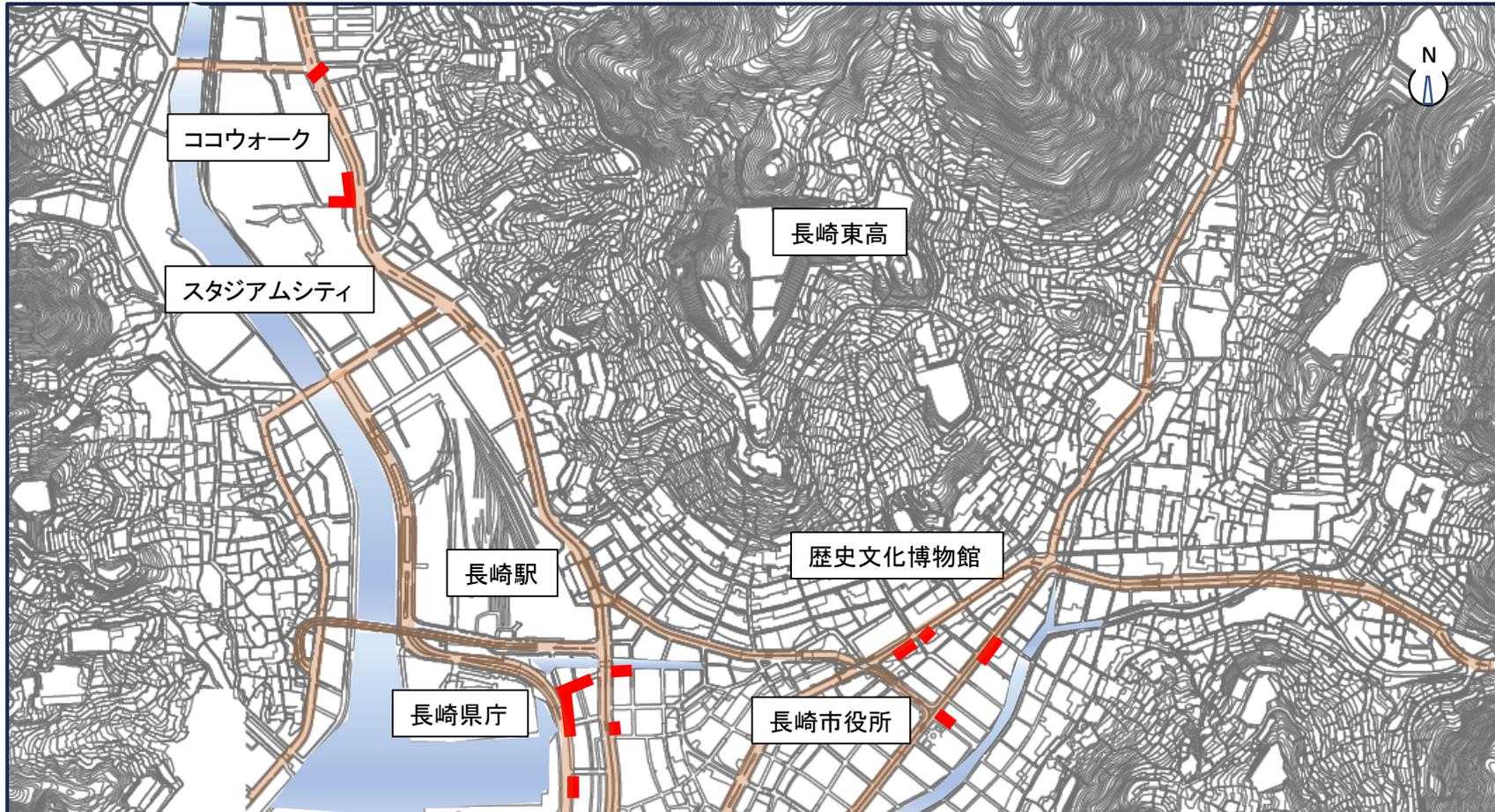
区分	主な内容	事業費
汚水管渠	<ul style="list-style-type: none"> ・中部・南部・西部処理区汚水管更生工事 管更生予定延長L=1,369m 管径φ200~1350mm 	424,600
汚水管渠	<ul style="list-style-type: none"> ・三和・三重・東部処理区管路施設調査設計業務委託 調査予定延長L=12,650m マンホール設計9箇所 	64,200

中部処理区污水管更生工事

(今回改築内容)

- ・施工延長 : L=693m (φ250～φ1350mm)
- ・布設年 : 昭和33年～昭和56年(67年～44年経過)

今回施工箇所

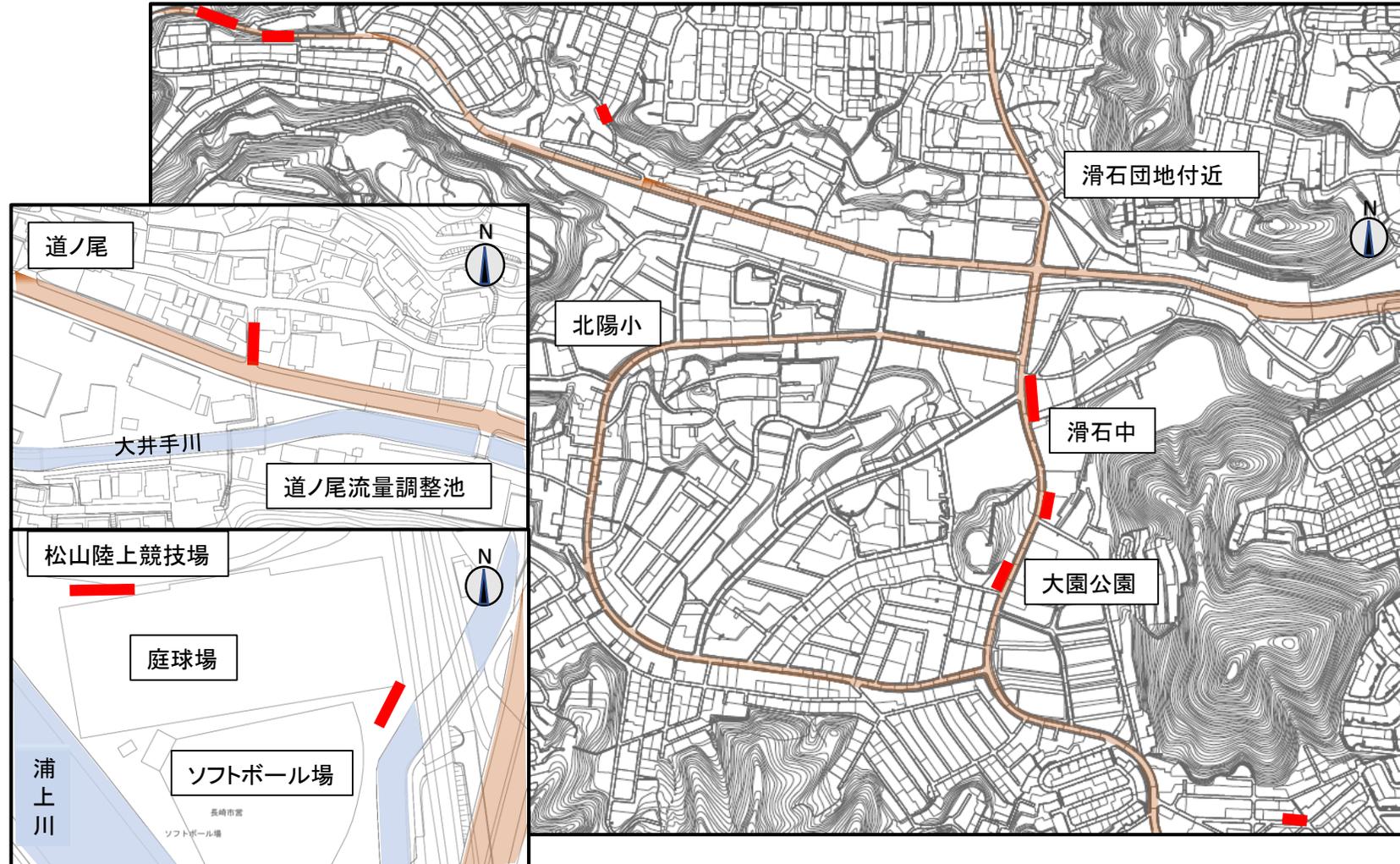


西部処理区污水管更生工事

(今回改築内容)

- ・施工延長 : L=280m(φ200~φ1000mm)
- ・布設年 : 昭和39年~平成3年(61年~34年経過)

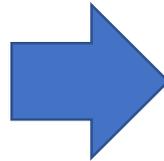
—— 今回施工箇所



管路の維持管理において、老朽化等による事故発生等を未然に防止するため、下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した既設管内面に新たな管を設ける管更生工事を行っている。



施工前

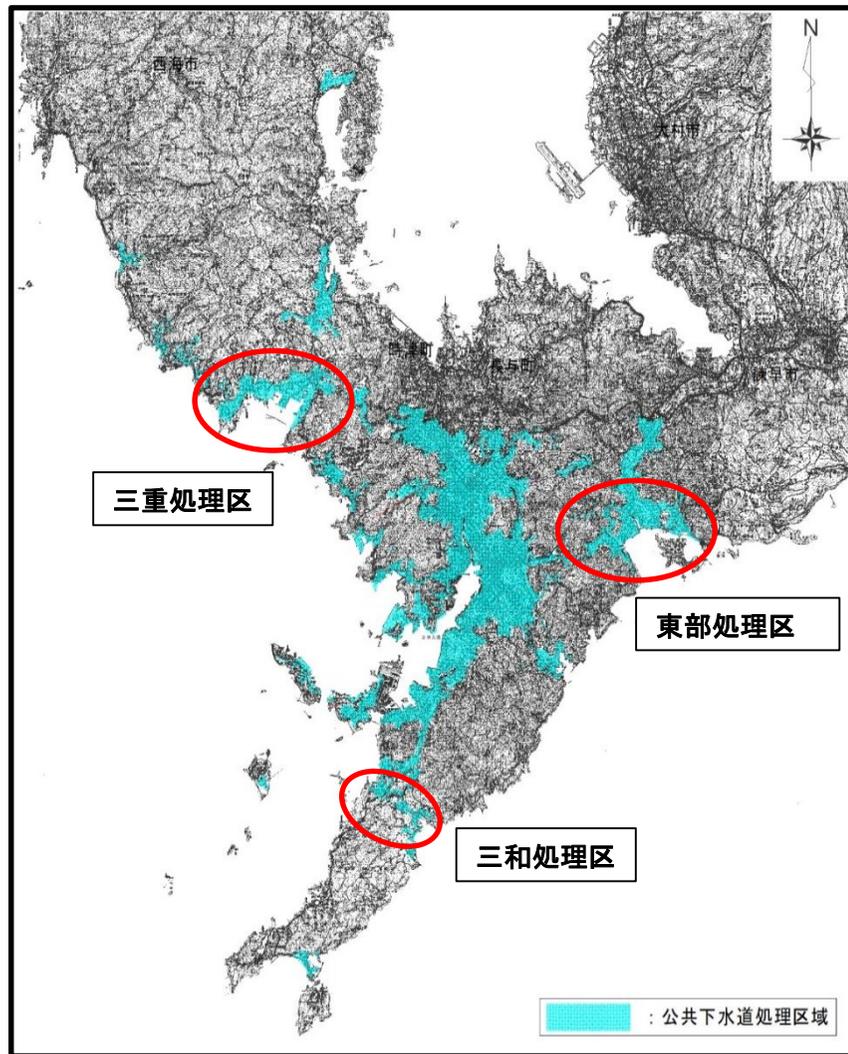


施工後

※ 管更生工事とは、地中に埋設されている下水道管を、掘削を行わず、管の内面に樹脂等でできた更生材を被覆することで、補強・リニューアルする工法

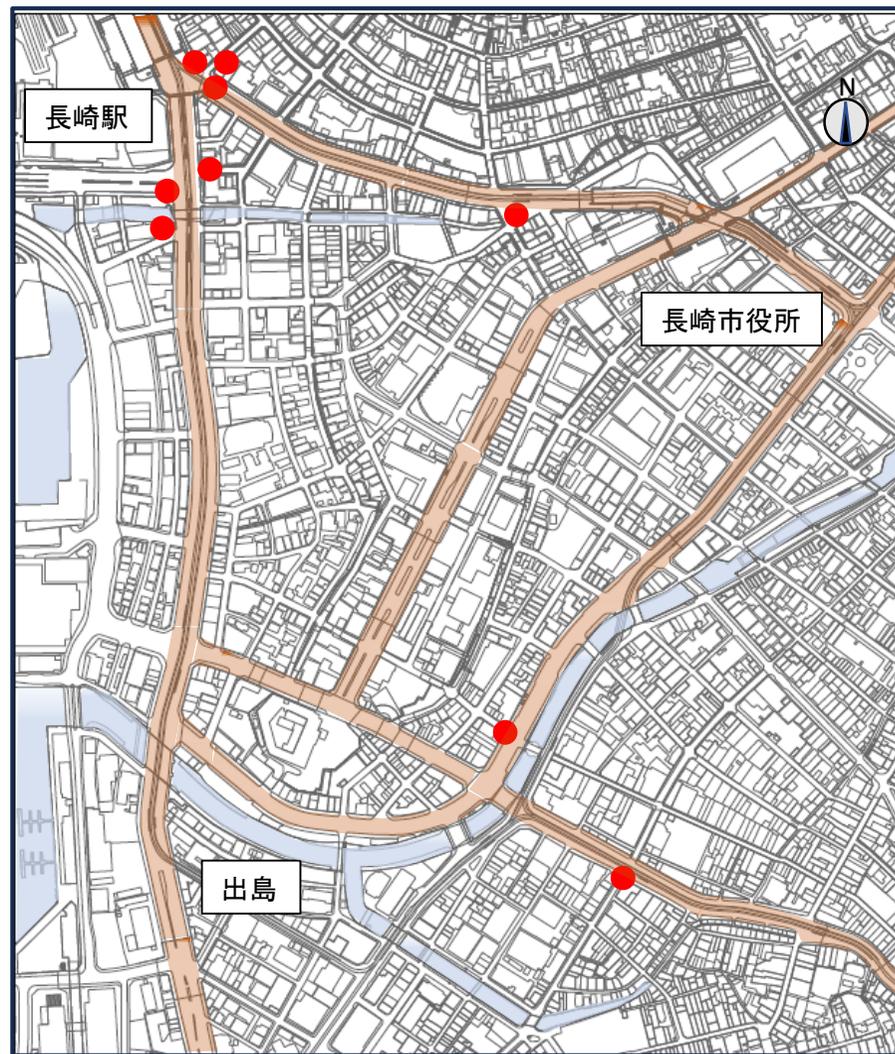
管路施設調査業務委託

管路施設調査業務委託



マンホール調査設計箇所

● 今回施工箇所



(3) 補正予算額及び財源内訳

(単位:千円)

予算科目		事業費	財 源 内 訳				
			企業債 ※1	出資金	国庫補助金 ※2	その他 ※3	自己資金
補助公共 下水道建 設事業費	補正前	1,673,772	761,300	1,700	783,745	14,700	112,327
	補正額	415,400	167,200	—	207,700	—	40,500
	補正後	2,089,172	928,500	1,700	991,445	14,700	152,827
単独公共 下水道建 設事業費	補正前	1,506,315	1,357,800	400	—	87,844	60,271
	補正額	73,400	59,900	—	—	—	13,500
	補正後	1,579,715	1,417,700	400	—	87,844	73,771
合計	補正前	3,180,087	2,119,100	2,100	783,745	102,544	172,598
	補正額	488,800	227,100	—	207,700	—	54,000
	補正後	3,668,887	2,346,200	2,100	991,445	102,544	226,598

※1 下水道事業債(充当率 95%) (交付税措置率30%)

下水道事業債(公営企業施設等整理債) (充当率100%)

下水道事業債(広域化・共同化分) (充当率95%) (交付税措置率42%)

過疎債(充当率50%) (交付税措置率70%)

※2 社会資本整備総合交付金(補助率 1/2)、防災・安全交付金(補助率 5.5/10、1/2)

※3 工事負担金94,090千円、受益者負担金・分担金8,454千円

2 新市庁舎建設事業費負担(市庁舎跡地再整備等)の継続費の補正について

継 続 費 事 項	期 間	補正額
新市庁舎建設事業費負担 市庁舎跡地再整備等	令和4年度から 令和9年度まで	千円 1,891

(1) 補正内容

- ・市庁舎別館を解体し、その跡地に公用車駐車場を整備するにあたり、令和4年度から令和9年度まで継続費を設定しているが、受注者より請負契約書第26条第6項（インフレスライド条項※）に基づき、請負代金額の増額変更の請求があったことから、市長部局における継続費の増額にあわせて、施設完成後に上下水道局が所有することになる床面積に応じた「水道事業会計及び下水道事業会計からの負担金」についても、同様に増額変更を行うもの

※ インフレスライド条項

予期することのできない特別の事情により、工期内に日本国内において急激なインフレーション又はデフレーションを生じ、請負代金額が著しく不相当となったときは、発注者又は受注者は、請負代金額の変更を請求することができる。

インフレスライドとは

基準日以降に施工する部分（残工事）に相応する請負代金額について、基準日における賃金・物価で算出し直し請負代金額を変更する制度。ただし、残工事に相応する請負代金額の1%の増減は、受注者又は発注者が負担し変更の対象としない

(2) 事業スケジュール

年度	R5 年度				R6 年度				R7 年度				R8 年度				R9 年度			
	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
建築工事					本工事上昇率 約5.15% (スライド後/スライド前)								残 工事 (スライド後) 843,448,232 円							
					済 工事 令和7年10月31日 インフレスライド請求(基準日)▲								残 工事 (スライド前) 802,133,200 円							
管工事													管 工事							
電気工事													電気 工事							

受注者負担分(残工事の1%) 8,021,332円

インフレスライド 増額分
(残工事の約4.15%) 33,293,700円

基準日 以降の
残工事がスライド対象

(3) 継続費の年割額

年度	補正前	補正額	補正後
	千円	千円	千円
令和4年度	-	-	-
令和5年度	299,400		299,400
令和6年度	423,900		423,900
令和7年度	423,900		423,900
令和8年度	493,900		493,900
令和9年度	353,900	33,294	387,194
合計	1,995,000	33,294	2,028,294

(4) これまでの契約変更経過

(単位:円)

種別	件名	契約日	内容	請負代金額	うち増額分
建築工事	公用車駐車場等 建設ほか工事	令和5年7月7日 契約議案可決 (令和5年6月議会)	当初契約	1,521,785,100	—
		令和7年3月13日 契約議案可決 (令和7年2月議会)	インフレスライド条項に基 づく請負代金額変更①	1,599,859,800	78,074,700
管工事	公用車駐車場等 建設管工事	令和7年9月19日	当初契約	135,889,600	—
電気工事	公用車駐車場等 建設電気工事	令和7年9月29日 契約議案可決 (令和7年9月議会)	当初契約	162,597,600	—

今後の契約変更予定

(単位:円)

種別	件名	契約日	内容	請負代金額	うち増額分
建築工事	公用車駐車場等 建設ほか工事	令和8年6月議会 議案上程予定	インフレスライド条項に基 づく請負代金額変更②	1,633,153,500	33,293,700

今回の補正額

(5) 上下水道局における継続費の年割額の補正

ア 市庁舎別館解体・公用車等駐車場建設工事

【工事期間】令和5年度～令和9年度 【全体事業費】2,028,294千円

事業名	期間	事業費	負担割合	上下水道局負担額
市庁舎別館解体	R5年度～R8年度	812,760千円	33.9%※1	237,987千円※3
公用車等駐車場 建設工事	R7年度～R9年度	1,215,534千円	14.2%※2	172,607千円
合計		2,028,294千円		410,594千円

※1 旧庁舎別館の面積のうち上下水道局が所有する面積の割合

(参考)

※2 公用車駐車場棟の延床面積のうち上下水道局が所有する面積の割合

駐車台数(全体) 約125台

※3 事業費から国庫補助金を除いた額に負担割合を乗じて算出

うち上下水道局分 約34台

イ 継続費の年割額

(単位:千円)

年 度	一般会計事業費			上下水道局負担金		
	補正前の額	補正額	補正後の額	補正前の額	補正額	補正後の額
令和4年度	-	-	-	-	-	-
令和5年度	299,400	-	299,400	87,714	-	87,714
令和6年度	423,900	-	423,900	124,153	-	124,153
令和7年度	423,900	-	423,900	73,611	-	73,611
令和8年度	493,900	-	493,900	70,134	-	70,134
令和9年度	353,900	33,294	387,194	50,254	4,728	54,982
合 計	1,995,000	33,294	2,028,294	405,866	4,728	410,594

ウ 上下水道局負担金継続費の年割額(会計別)

(単位:千円)

区分	事業年度	一般会計 事業費	上下水道局負担金		
			合計	水道事業会計	下水道事業会計
補正前の額	令和4年度	-	-	-	-
	令和5年度	299,400	87,714	52,628	35,086
	令和6年度	423,900	124,153	74,492	49,661
	令和7年度	423,900	73,611	44,167	29,444
	令和8年度	493,900	70,134	42,080	28,054
	令和9年度	353,900	50,254	30,152	20,102
	合計	1,995,000	405,866	243,519	162,347
補正額	令和4年度	-	-	-	-
	令和5年度	-	-	-	-
	令和6年度	-	-	-	-
	令和7年度	-	-	-	-
	令和8年度	-	-	-	-
	令和9年度	33,294	4,728	2,837	1,891
	合計	33,294	4,728	2,837	1,891
補正後の額	令和4年度	-	-	-	-
	令和5年度	299,400	87,714	52,628	35,086
	令和6年度	423,900	124,153	74,492	49,661
	令和7年度	423,900	73,611	44,167	29,444
	令和8年度	493,900	70,134	42,080	28,054
	令和9年度	387,194	54,982	32,989	21,993
	合計	2,028,294	410,594	246,356	164,238

エ 水道事業会計と下水道事業会計の負担割合

職員数(上下水道局長を除く)をもとに按分

水道事業会計(146人) : 下水道事業会計(90人) ⇒ 60% : 40%

オ 財源について

財源は水道事業及び下水道事業ともに全額自己資金

(6) 概要

工事概要



(6) 概要

工事概要

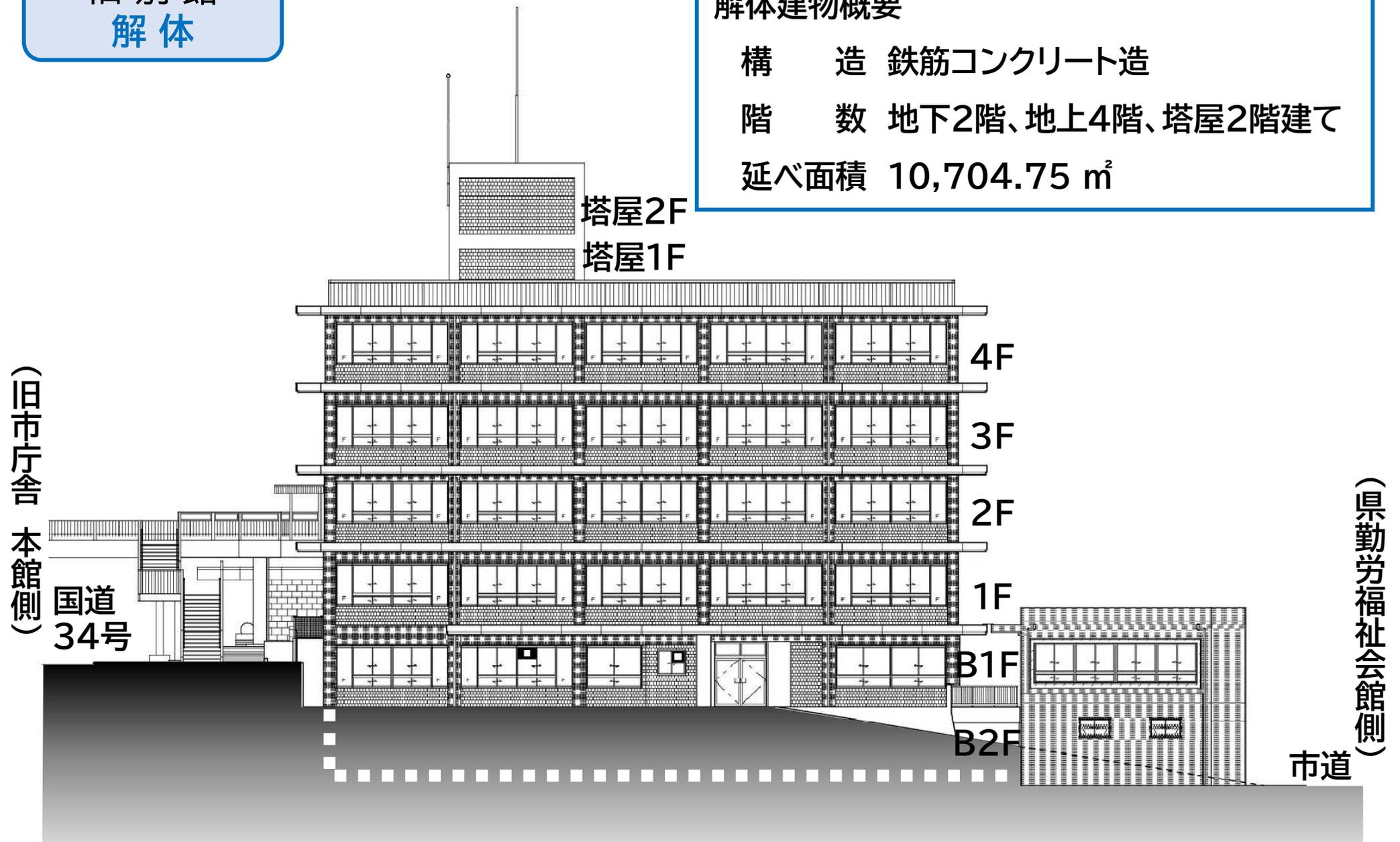
旧別館
解体

解体建物概要

構造 鉄筋コンクリート造

階数 地下2階、地上4階、塔屋2階建て

延べ面積 10,704.75 m²



(6) 概要

工事概要

公用車駐車場
建設

建物概要

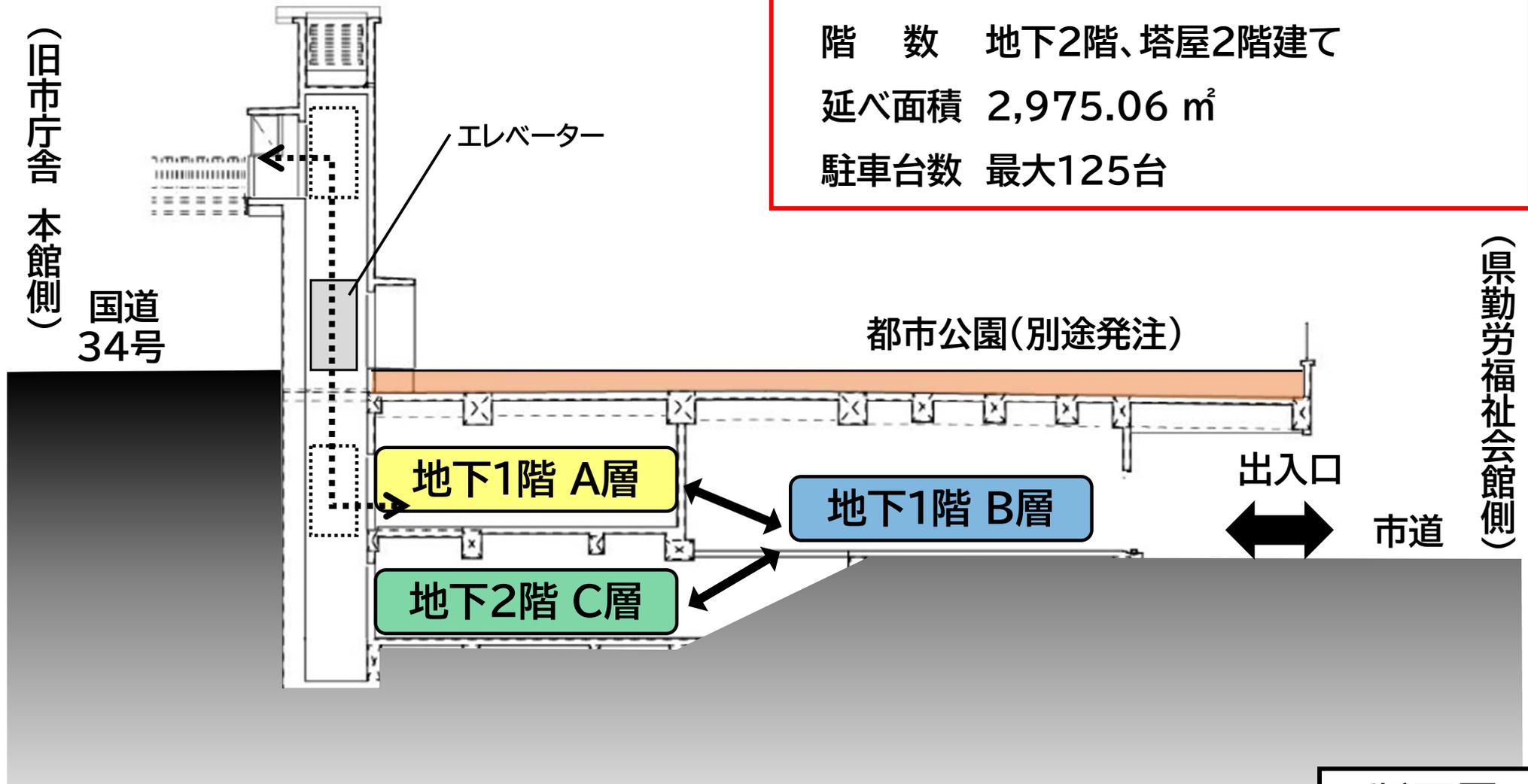
主要用途 駐車場

構造 鉄筋コンクリート造

階数 地下2階、塔屋2階建て

延べ面積 2,975.06 m²

駐車台数 最大125台

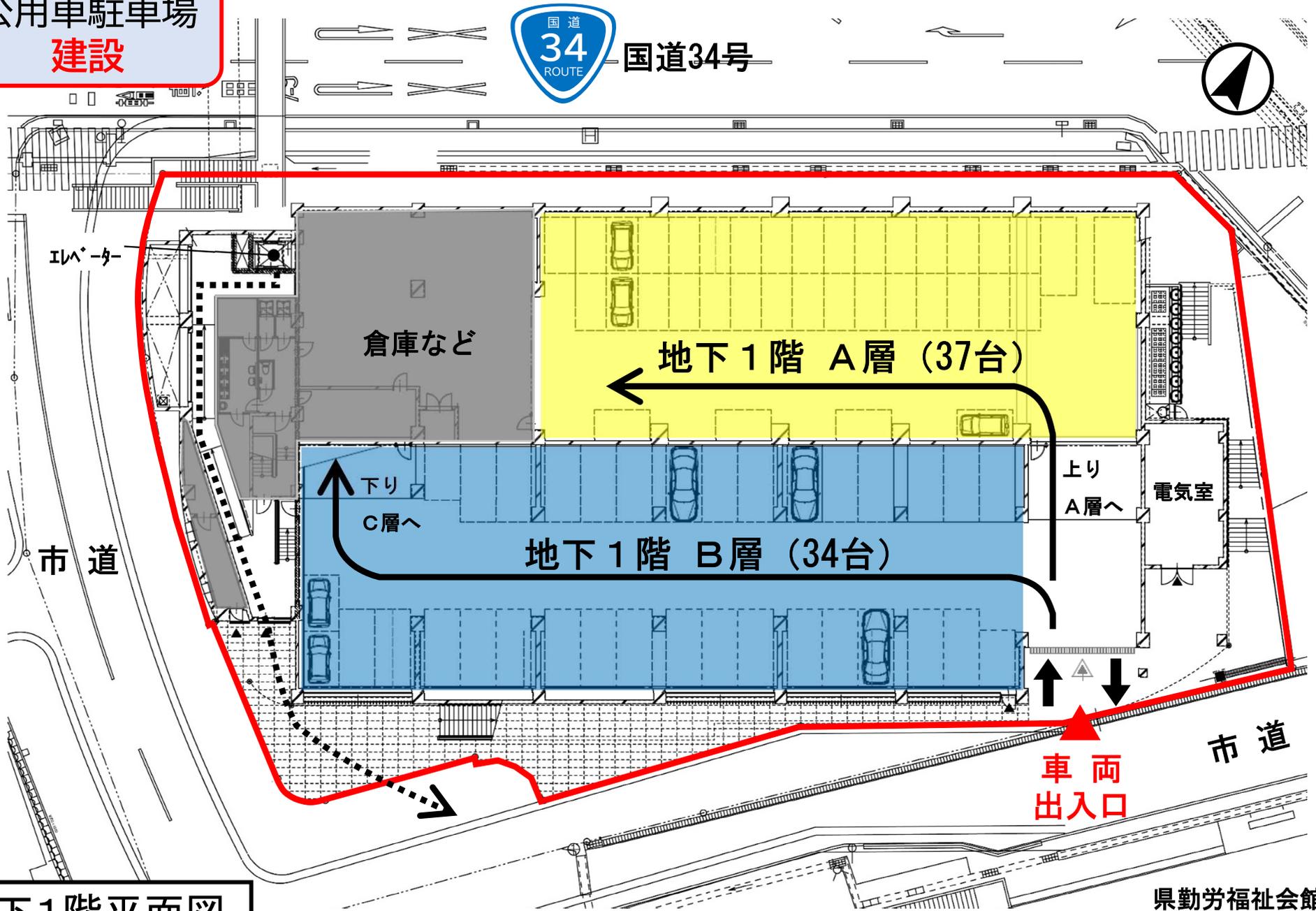


断面図

(6) 概要

工事概要

公共車駐車場
建設

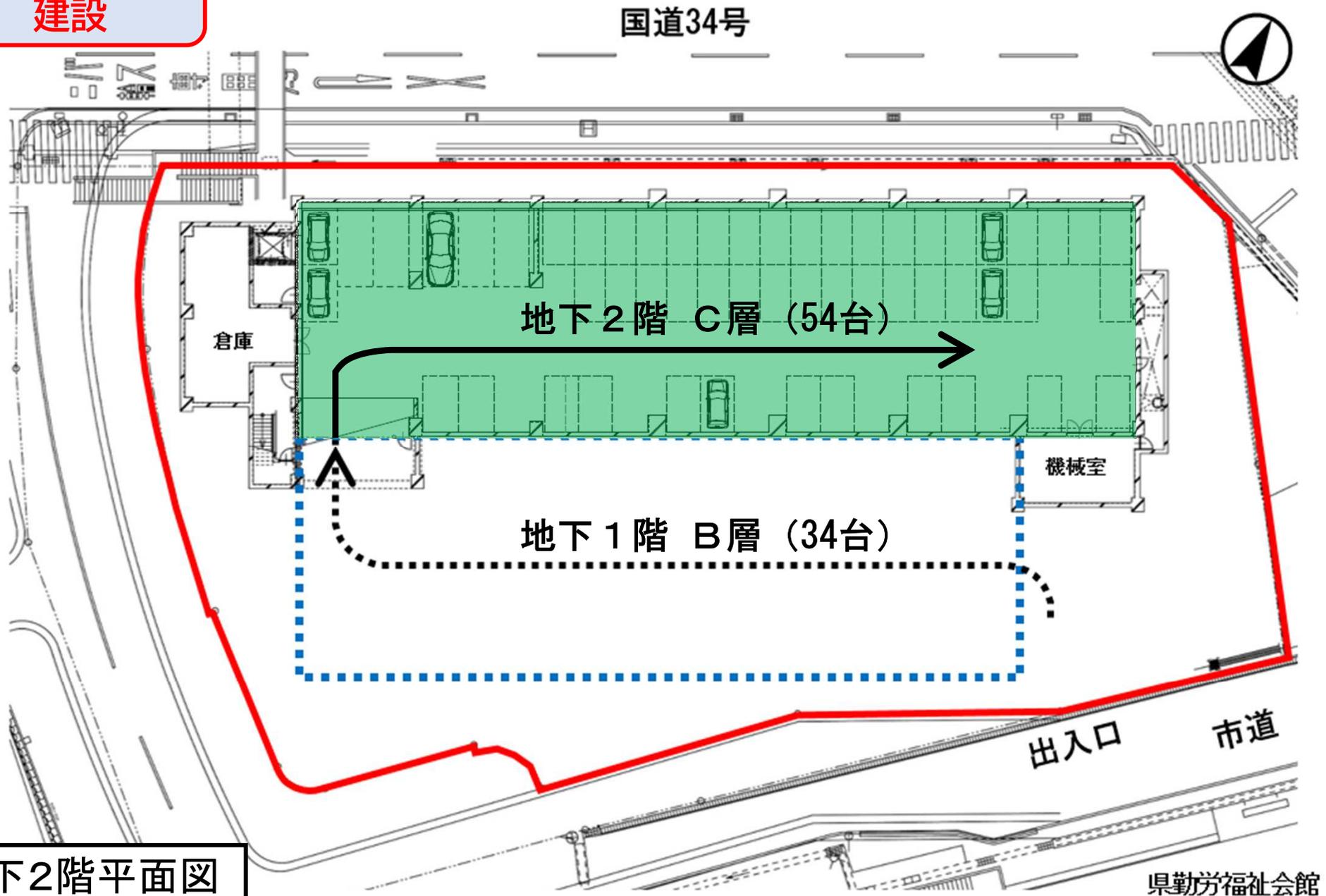


地下1階平面図

(6) 概要

工事概要

公用車駐車場
建設



地下2階平面図

3 南部上下水道事務所における電気使用料還付金について

事業名	補正予算額
電気使用料の過誤納還付金	千円 35

(1) 概要

・三和地域センター庁舎の一部を使用している南部上下水道事務所の電気使用料について、入居するテナントの電気使用料算定に用いる子メーターの指針の誤読により、長崎市（一般会計）から過大に請求されていたことが判明したため、その過払い分の返還を受けるもの

※電気使用量の算定及び請求：全額を市が電力会社に支払い、後日、各入居テナント（銀行及びその他）に請求。そのうち、銀行分については子メーターにより積算し、その他については銀行分を控除した額を面積按分により積算し、各自へ請求

(2) 還付金の金額等について

・今回の誤請求は市の誤りによるものであるため、上下水道局を含むテナントには明確な資料があるものに限り、全額返還される

還付額 69,592円（平成22年4月～令和6年3月） ※水道事業会計と下水道事業会計で1/2ずつ折半

【参考】 明確な資料が存在しないため還付されない期間及び金額
期間：平成19年7月～平成22年3月 推計額：9,840円

(3) 補正額

（還付金に係る部分のみ）

（単位：千円）

予算科目（款項目）	当初予算額	補正予算額	計
1 下水道事業収益			
2 営業外収益	—	35	35
4 雑収益			

4 下水道事業会計補正予算(第3号)総括表

収益的収入及び支出

(単位:千円)

款項目	既決予定額	補正予定額	計
1 下水道事業収益	12,717,515	35	12,717,550
1 営業収益	9,960,818	—	9,960,818
1 下水道使用料	8,225,427	—	8,225,427
2 負担金	1,524,380	—	1,524,380
3 補助金	210,965	—	210,965
4 その他の営業収益	46	—	46
2 営業外収益	2,727,712	35	2,727,747
1 受取利息	19,975	—	19,975
2 負担金	372,069	—	372,069
3 長期前受金戻入	2,327,521	—	2,327,521
4 雑収益	8,147	35	8,182
3 特別利益	28,985	—	28,985
1 固定資産売却益	1	—	1
2 過年度損益修正益	8	—	8
3 その他特別利益	28,976	—	28,976
1 下水道事業費用	11,661,819	—	11,661,819
収支差引	1,055,696	35	1,055,731

資本的収入及び支出

(単位:千円)

款項目	既決予定額	補正予定額	計
1 資本的収入	6,978,560	434,800	7,413,360
1 企業債	3,348,200	227,100	3,575,300
2 出資金	2,089,546	—	2,089,546
1 他会計出資金	2,089,546	—	2,089,546
3 受益者負担金・分担金	9,105	—	9,105
4 工事負担金	96,336	—	96,336
1 他会計負担金	94,536	—	94,536
2 その他負担金	1,800	—	1,800
5 補助金	1,337,285	207,700	1,544,985
1 国庫補助金	1,337,285	207,700	1,544,985
6 補償金	85,297	—	85,297
7 貸付金償還金	12,790	—	12,790
8 固定資産売却代金	1	—	1

(単位:千円)

款項目	既決予定額	補正予定額	計
1 資本的支出	10,414,702	488,800	10,903,502
1 建設改良費	4,638,157	488,800	5,126,957
1 単独公共下水道建設事業費	1,506,315	73,400	1,579,715
2 単独公共下水道雨水建設事業費	262,722	—	262,722
3 単独特定環境保全公共下水道事業費	19,294	—	19,294
4 単独農業集落排水施設建設事業費	4,340	—	4,340
5 単独漁業集落排水施設建設事業費	2,160	—	2,160
6 補助公共下水道建設事業費	1,673,772	415,400	2,089,172
7 補助公共下水道雨水建設事業費	896,373	—	896,373
8 補助特定環境保全公共下水道事業費	50,600	—	50,600
9 污水改良事業費	133,973	—	133,973
10 新市庁舎建設事業費	29,444	—	29,444
11 営業設備費	53,723	—	53,723
12 リース債務支払額	5,441	—	5,441
2 企業債償還金	5,712,545	—	5,712,545
3 投資	64,000	—	64,000
資本的収支不足額	3,436,142	54,000	3,490,142
補てん財源			
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	259,573	—	259,573
損益勘定留保資金	3,176,569	54,000	3,230,569
減債積立金	—	—	—